

## 当院急性期病棟での精神科薬物療法の変遷の調査及び検討

### 1. 研究の目的

当院は群馬県の精神科救急の基幹病院として、精神科救急患者に対して精神科薬物療法を含めた入院治療を行っております。今回の研究の目的としては、今後の精神科救急病棟での治療戦略を構築して、当院での精神科薬物療法による治療効果を向上することとしました。今回の研究は、前述の研究目的に従って、当院急性期病棟での精神科薬物療法の変遷について調査及び検討を行いました。

### 2. 研究の方法

2015年10月、2019年10月、2022年3月に当院急性期病棟に入院していた患者について、性別、年齢、診断名、発症年齢、治療開始までの罹病期間、治療開始までの総入院回数、電気痙攣療法の有無、抗精神病薬使用の有無及び薬数と種類、持続性抗精神病注射剤の有無及び薬数と種類、気分安定薬併用の有無及び薬数と種類を調査しました。それぞれの項目について、平均値や分布割合、有無や薬物の種類による割合を算出しました。

### 3. 情報の公表

研究結果は2022年4月にヤンセンファーマ及び大塚製薬が主催で行われるウェブ講演会の一部で発表する予定です。患者様の個人情報や個人データが公表されることはありません。

### 4. 個人情報とプライバシーの保護について

本研究は、当院の倫理委員会で倫理性や科学性が検討され承認されています。また、個人のデータについては完全に匿名化してデータ解析しており、個人情報の管理については適切な配慮を行っています。本研究は、あくまで集団の平均値や分布割合を評価や提示しているのみで、患者様の個人情報や個人データを提示することはありません。

### 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、診療記録が本研究に用いられることについて、ご了承いただけない場合には集計対象と致しませんので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合も通常の診療などで不利益を受けることは全くありません。

(研究期間：2022年3月1日～2022年4月30日)

連絡先：群馬県立精神医療センター 電話：0270-62-3311

研究責任者：群馬県立精神医療センター 須藤友博